

# 企画展「風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画」開催

2024年10月12日[土]-2025年1月13日[月・祝]



八戸市立湊中学校養護学級生徒《星空をペガサスと牛が飛んでいく》『虹の上をとぶ船総集編II』1976、八戸市美術館蔵

青森の教育版画は、<sup>こんじゅんぞう</sup>今純三をはじめとした郷土の版画家を中心に1930年ごろから始まりました。その後、<sup>こうし</sup>大田耕士が中心となって推進した、1950～90年代の「教育版画運動」の流れを受けて全県に広がり、八戸では、<sup>しょうくろう</sup>坂本小九郎が市内中学校で教育版画を熱心に指導しました。それらの作品は当館に収蔵され、うち一点は、宮崎駿監督の映画「魔女の宅急便」の劇中画のモデルとなっています。

本展では、当館所蔵の教育版画を中心に、坂本と教育版画の出会いの「種」となった、版画教育に携わった郷土の版画家や県内の教育版画を紹介します。さらに、現代のアーティストと市内の子どもたちによる「共創作品」も展示します。

## ●内覧会（報道等の関係者向け）

内覧会 | 2024年10月11日(金) 14:00～16:00(受付 13:30～)

※ギャラリーツアー(自由参加)

14:15～15:00

自由観覧

15:00～16:00

## お問い合わせ先

八戸市美術館 031-0031 青森県八戸市大字番町10-4 TEL | 0178-45-8338(代表番号) FAX | 0178-24-4531

E-mail | art@city.hachinohe.aomori.jp 八戸市美術館公式HP | <https://hachinohe-art-museum.jp>

広報担当者 | 類家 担当学芸員 | 高橋(展覧会)、田村(プロジェクト)



# 風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画 概要

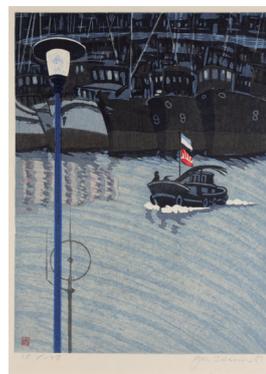
企画名称	風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画
展覧会会期	2024年10月12日(土)～2025年1月13日(月・祝)
会場	八戸市美術館 ホワイトキューブ
開館時間	10:00～19:00(最終入場18:30) ※12月28日、1月2日、1月3日は10:00～17:00(最終入場16時30分)
休館日	毎週火曜日、年末年始(12月29日～1月1日)
観覧料	一般1,000円(800円)、大学生・専門学生500円(400円)、高校生以下無料
各種割引等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市内および近隣町村(三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)の65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方とその付添者1名は半額</li> <li>・近隣の有料駐車場を利用していることがわかる駐車券などの提示により、運転者1名分に団体割引を適用</li> <li>・11月3日(日)は無料観覧デー。</li> </ul>
フリーパス「かおパス」	一般1,500円、大学生・専門学生750円 ※本展覧会に限り、何度でもご覧いただけます。
主催	八戸市美術館、青森放送
後援	八戸市教育委員会、青森朝日放送、青森テレビ、八戸テレビ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、エフエム青森、コミュニティラジオ局 BeFM
グラフィックデザイン	牧野 沙紀 (homesickdesign)
会場構成	佐藤 慎也
担当学芸員	高橋 麻衣(展覧会)、田村由衣(プロジェクト)



左|八戸市立鯨中学校はまの会《飛ぶ》1962 ごろ



中央|八戸市立江陽中学校生徒《竜骨》1969



右|関野準一郎《八戸港》1987、青森市蔵



# 展覧会の見どころ

## 1. 青森で20年ぶり! 『虹の上をとぶ船総集編Ⅰ・Ⅱ』と『《虹の上をとぶ船完結編》』の大型作品全9点を一堂に展示

宮崎駿監督の映画「魔女の宅急便」の劇中画のモデルとなった《星空をペガサスと牛が飛んでいく》を含む『虹の上をとぶ船総集編Ⅰ・Ⅱ』全8作品に加え、縦2m×横4mの大型作品『虹の上をとぶ船完結編』を展示します。八戸市立湊中学校養護学級の生徒たちが描いた幻想的な世界が広がる大迫力の作品は必見です。

## 2. 青森の教育版画の「種子」をたどる初の展覧会

青森の教育版画のはじまりには、日本近代銅版画家を代表する一人であり、青森の版画教育の礎を築いた版画家・今純三の存在がありました。本展では、今純三やその弟子をはじめとした、版画教育に携わった郷土の版画家を紹介します。さらに、教育版画が広がり始めた1950年代～60年代に青森で作られた文集や教育版画や、八戸でつくられた教育版画の展示を通して、青森の教育版画の流れをたどります。

## 3. 1950年代～70年代の八戸の教育版画を紹介

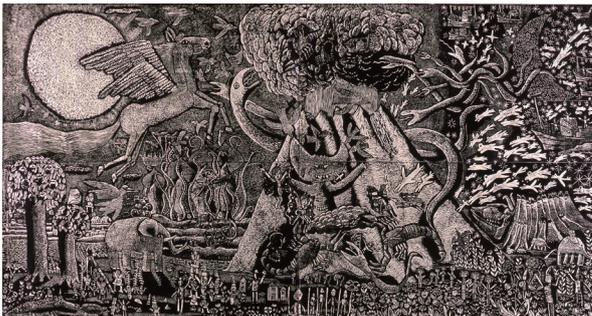
1950年代～70年代に八戸の中学校教員の坂本小九郎が実践した、八戸の暮らしをみつめて表現された版画の数々。漁港の暮らしを描いた1950年代の作品から、神話に影響を受けた幻想的な世界観を持つ1970年代の「虹の上をとぶ船」シリーズまで、当館の所蔵作品を中心に、坂本の指導による八戸の教育版画を一堂に展示します。

## 4. 「風の人」大田耕士と青森の教育版画のつながり

教育版画運動を全国に広めた版画家・教育者の大田耕士と青森の教育版画との関わりを紹介します。

## 5. 現代のアーティストと市内の子どもたちによる「共創」

青森の教育版画の「種子」を受け取った現代の私たちが、何ができるのかという問いに対する実践として、本展では、アーティストと子どもたちによる「共創」を試みています。版画をルーツとしたアーティストユニット「THE COPY TRAVELERS」<sup>ザ コピー トラベラーズ</sup>と音楽家の井川丹<sup>いかわあかし</sup>の2組それぞれが、市内の子どもたちとともに制作した作品を展示しています。



八戸市立湊中学校養護学級生徒《虹の上をとぶ船完結編》1977、  
青森県立郷土館蔵



今純三《根城々址より馬淵川眺望》『青森県画譜第1集』  
1933、青森県立郷土館蔵



# 展示構成

---

## 01. 種の章

日本近代銅版画家を代表する一人であり、青森の版画教育の礎を築いた版画家・今純三。本章では、青森の教育版画の出発点となった青森県師範学校の教員時代以降の作品から、今純三の足跡をたどっていく。

## 02. 芽吹の章

1950年代に入ると、学校教育での版画づくりを通して子どもたちの人間力を育むことを目指した「教育版画運動」が盛んになっていく。それに呼応するように、青森県内でも教育版画の実践が広まっていった。本章では、県内の教育版画の発展を、版画教育に携わった郷土の版画家たちの作品と、当時の子どもたちが制作した文集・版画集や教育版画を通して紹介する。

## 03. 開花の章

本章では、青森の教育版画のうち、八戸で行われた実践を紹介していく。八戸では、1950年代～70年代に八戸の中学校教員の坂本小九郎が教育版画を熱心に指導し、全国的にも高い評価を受けた。漁港の暮らしを描いた八戸市立鮫中学校での作品から、八戸市立南浜中学校での「うみう」や八戸市立江陽中学校での「船」を描いた作品群、そして、実践の集大成となる八戸市立湊中学校養護学級での「虹の上をとぶ船」シリーズまで、当館の所蔵作品を中心に、八戸の教育版画のあゆみをたどる。

## 04. 風の章

教育版画運動を全国的に広めた教育者・版画家の大田耕士について、今純三、教育版画運動、坂本小九郎のそれぞれのつながりを、書籍などの資料を中心に紹介する。

## 05. 時の章

教育版画の精神を受け継いだ、「時」を超えた実践として、アーティストと子どもたちの「共創」作品を紹介する。アーティストユニット「THE COPY TRAVELERS」は、市内の子どもたちとともに、コピーという現代的な複製手法を使いながら、新たな八戸のまち「パラレルシティ」を創作した。また、井川丹は、『虹の上をとぶ船総集編Ⅰ・Ⅱ』を題材に、市内の子どもたちが合唱で参加した9時間にわたる音楽インスタレーション作品(初演2023年)を響かせる(ヘッドフォンで常時聴くことができ、展示室内には毎日18時～19時で上演)。



## 関連イベント



「コピサイズ」の様子

### ワークショップ「コピトラとつくるアタラシイハンガ」

コピー機の上に様々な素材を置いてコピーする「コピサイズ」で、コラージュ作品を作ります。

日時 10月12日(土) 10:30～15:30

場所 | スタジオ

講師 | THE COPY TRAVELERS

参加費 | 無料(定員15名)

申込 | 電話または申込フォーム ※9月21日(土)より



THE COPY TRAVELERS

### アーティストトーク「コピトラとつくるパレルシティ」

八戸市内の子どもたちとのプロジェクトや出展作品について語ります。

日時 10月13日(日) 13:00～14:30

出演 | THE COPY TRAVELERS

参加費 | 無料(定員30名)

申込 | 電話または申込フォーム

#### プロフィール | THE COPY TRAVELERS

かのうしゅんすけ まことつべい うえだやや  
加納俊輔、迫鉄平、上田良の3名からなるアーティスト・ユニット。写真や印刷物など、それぞれが集めたイメージを、コピー機やスキャナ、カメラといったツールを用いて組み合わせるなど、多様な試みによって「複製」や「コラージュ」という手法の可能性を探っている。

### 講演会「教育版画運動とは一かつて、みんな版画家だった」

なぜ学校で版画を彫ることになったのか、教育版画運動から学びます。

日時 | 11月4日(月・祝) 14:00～15:30

講師 | 町村悠香 (町田市立国際版画美術館学芸員)

参加費 | 無料(定員30名)

申込 | 電話または申込フォーム



## 関連イベント

---

### ワークショップ

#### 「銅版画(ドライポイント)をつくろう」

ドライポイント技法で作品をつくります。

日時 | 11月9日(土)、12月1日(日) 10:30 ~ 16:30

講師 | 安田真理子

参加費 | 1,000 円(定員10名、中学生以上対象)

申込 | 電話または申込フォーム ※10月20日(日)より受付開始

### 座談会

#### 「坂本先生を語る」

坂本先生の教え子たちが当時について語ります。

日時 | 11月17日(日) 14:00 ~ 15:30

出演 | 教え子のみなさん(上野修、坂本勝利、梶谷伸夫ほか)

参加費 | 無料(定員30名)

申込 | 電話または申込フォーム

### ギャラリートーク

担当学芸員と一緒に展覧会を巡ります。

日時 | 10月27日(日)、1月11日(土) 各日11:00 ~ 12:00

参加費 | 無料(要展覧会チケット)

申込 | 不要

### ギャラリートーク・プラス

#### ①手話通訳付きツアー

手話通訳付きで、担当学芸員と一緒に展覧会を巡ります。

日時 | 11月23日(土) 14:00 ~ 15:00

参加費 | 無料(要展覧会チケット)

申込 | 電話または申込フォーム ※10月20日(日)より受付開始

#### ②八戸市国際交流員による英語ツアー

八戸市国際交流員の英訳付きで、担当学芸員と一緒に展覧会を巡ります。

日時 | 12月14日(土) 14:00 ~ 15:00

参加費 | 無料(要展覧会チケット)

申込 | 不要



# 広報用画像



a



b



c



d



e



f



g



h



i

## [キャプション]

- a 八戸市立湊中学校養護学級生徒《星空をペガサスと牛が飛んでいく》『虹の上をとぶ船総集編 II』1976
- b 八戸市立鮫中学校はまなすの会《飛ぶ》1962 ごろ
- c 八戸市立江陽中学校生徒《竜骨》1969
- d 関野準一郎《八戸港》1987、青森市蔵
- e 八戸市立湊中学校養護学級生徒《虹の上をとぶ船完結編》1977、青森県立郷土館蔵
- f 今純三《根城々址より馬淵川眺望》『青森県画譜第1集』1933、青森県立郷土館蔵
- g 「コピササイズ」の様子
- h THE COPY TRAVELERS
- i メインビジュアル(キャプション不要)

広報用画像をご希望の方は、【1. 会社名 / 組織名、2. 媒体名・媒体の種類(雑誌、テレビ、webなど)、3. ご担当者名、4. ご連絡先、5. 掲載 / 放送予定日、6. 画像到着希望日、7. ご希望の写真が掲載されているプレスリリースの発行日、8. ご希望の写真記号】をメール、または FAX に明示の上、下記、お問い合わせ先までご連絡ください。

## [画像の貸出条件]

- 画像は本企画・美術館の紹介の目的のみにお使いいただけます。• 画像データは第三者へ譲渡せず、使用後すみやかに消去してください。
- 画像のトリミングについては事前にご相談ください。• 作品画像の上に図や文字を重ねることはできません。• 画像を掲載、放送する際には、指定のクレジット表記を必ず入れてください。• 画像を掲載、放送する前に、ゲラ等掲載案をお送りください。担当者が確認します。• 新聞紙、雑誌、書籍等の印刷物に画像を使用する際は、八戸市美術館に1部ご寄贈ください。

## お問い合わせ先

八戸市美術館 031-0031 青森県八戸市大字番町10-4 TEL | 0178-45-8338(代表番号) FAX | 0178-24-4531  
 E-mail | art@city.hachinohe.aomori.jp 八戸市美術館公式 HP | https://hachinohe-art-museum.jp  
 広報担当者 | 類家 担当学芸員 | 高橋(展覧会)、田村(プロジェクト)